

(平成30年10月1日～)

☆当院では待ち時間短縮のため午前中の診察は予約制となっております☆

			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	外来	1診	山下(和)	山下(秀)	重本	西澤	重本	重本
		2診	佐々木	西澤	水入(腎臓内科)	水入(腎臓内科)	山下(秀)	山下(和)
		3診	藤井(血液内科)	大下	藤野	—	大下	佐々木
		4診 DM	内藤(則)	小林(貴) (10:30-11:30特定健診含む)	内藤(則)	松口	松口	広大
		5診	宮崎	原田(仁)(整形)	—	小林(貴)	松坂	(第1・3・5週目)(第2・4週目) 土井(俊)(整形)/原武
		6診 初診	藤野	松坂	宮崎	芦谷	原武	小林(知)
		7診	藤田	藤田	藤田	—	藤田	広大
		8診	—	—	—	—	—	(第1・3・5週目) 原武
	放射線科		石根	石根、広大	石根	石根、広大	石根、広大	広大
午後	外来	1診	15:00～16:00(第4週目) /16:00～18:00 循環器 木原/原武	16:00～18:00 池田	15:00～18:00 碓井	16:00～18:00 原武	14:00～15:00/16:00～18:00 特定健診 松口/松原	16:00～18:00 芦谷
		2診	14:30～16:30(不定期) 呼吸器 濱田	14:00～16:00/16:00～18:00 呼吸器/一般内科 坂本	16:00～18:00 松原	14:00～16:00 PD 西澤	16:00～18:00 呼吸器 濱田	15:00～17:00 広大
		3診	13:00～16:00 フットケア 松口	14:20～16:00 CKD 水入	15:00～18:00 血液内科 三原	14:00～16:00 CKD 水入	14:30～16:00 CKD 西澤	—
		4診	—	—	13:00～14:00 禁煙外来 内藤(則) 16:00～18:00(第2週目)/16:30～18:00 オーバーナイトHD/HHD 西澤	—	—	—
		5診	15:00～18:00 整形外科 中島	15:30～17:30 整形外科 原田(仁)	16:00～18:00 佐々木	—	—	—
		7診	13:30～16:30 リウマチ・膠原病 河野	—	—	—	—	—
	放射線科		石根	石根	石根	—	石根	—



一陽会

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号(原田病院内)
TEL 082-925-6222(訪問看護) 082-925-6221(居宅介護)
FAX 082-925-6223(共通)

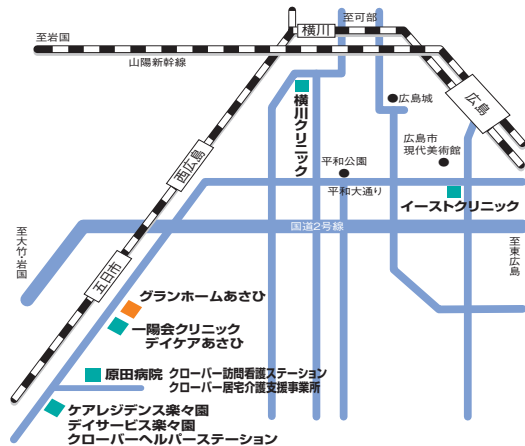
〒731-5136 広島市佐伯区楽々園3丁目14番3号
TEL 082-943-8686 (ケアレジデンス楽々園)
082-943-8585 (デイサービス楽々園)
082-943-7088 (ヘルパーステーション) FAX 082-943-8588 (共通)

あさひメディコ

〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号
TEL 082-943-7773 FAX 082-943-8600

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161(代) FAX 082-921-8035
ホームページ <http://www.icy.or.jp> E-mail info@icy.or.jp (一陽会 広報室)
ご意見・ご質問があれば上記の一陽会広報室までご一報ください。

周边地图



本編でもご紹介したように、原田病院では新たに2名の看護師が認定看護師資格を取得しました。◆認定看護師とは(社)日本看護協会が認定するキャリアアップ資格で、看護師としての実務経験が5年以上(認定看護分野の実務経験が3年以上)あり、半年間・615時間以上の認定看護師教育課程を修了したのち資格試験に合格した、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいいます。◆認定看護師には「熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する」「看護実践を通して看護職に対し指導を行う」「看護職に対しコンサルテーションを行う」などの役割が定められており、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかることが求められています。◆原田病院では現在皮膚排泄ケアと糖尿病看護、2分野2名の認定看護師が在籍し、医療のレベルアップに大いに貢献していますが、新たに摂食嚥下と透析看護、2分野2名の認定看護師が誕生したことにより、さらに広く質の高い医療を提供していけるものと期待しております。(N.U)

一陽会広報誌

平成30年

秋号

vol.59



撮影：事務部 古川千恵

1 愛情ある奉仕の心を以って地域医療・介護に貢献する。 2 和衷協同して技術の向上と人格の形成に努める。

3 誠心と創意工夫を以ってその職責を全うする。 一陽会職員は、「愛・和・誠」を基訓として、日々の診療にあたっております。

- 1 患者は人としての尊厳を維持する権利を有する。
一陽会の職員は患者のプライバシーの保護に努めるとともに、人としての尊厳を重視する。
- 2 患者は納得できる医療を受ける権利を有する。
一陽会の職員は患者に必要な情報提供を行い、インフォームドコンセント(説明と同意)に努める。
- 3 患者は医療機関選択の自由の権利を有する。
患者にはいかなる治療段階においても他の医師等の意見をもとめる権利(セカンドオピニオン等)があり、一陽会はこれを支援する。

- 1 地域ニーズに応える地域密着型の病院をめざす。
すなわち、高齢化が進む今日、高齢者の急性期医療を担うという当院の役割を明確にする。その為に、病診・病病連携を密にし、紹介患者の受け入れ、及び回復後の逆紹介を励行する。
- 2 医療、介護、福祉の関連機関と協力して、在宅医療を支援・推進する。
また医療の質を高めることにより早期社会復帰、平均在院日数の短縮をはかり、急性期型病院を維持する。
- 3 腎疾患、糖尿病、透析を中心とした急性期医療を提供する。
特に透析医療では、当地区において中心的役割を果たすよう努力する。
- 4 患者中心の医療を目指す。
すなわち患者の権利、尊厳、利益、希望を尊重した医療を実現するため、相談窓口、検診機関を広く設け、積極的に実施する。

イーストクリニック 開院 20周年

おかげさまでイーストクリニックは開院20年を迎えることができました。

イーストクリニックは、一陽会の2か所目のサテライトクリニックとして誕生し、本年5月18日に開院20周年を迎えました。南区段原の地で、近隣の先生方の温かいご支援ならびに患者の皆さま方のご支持により今日まで育てていただきましたことを、心から感謝し厚く御礼申し上げます。

当院は、『気軽に立ち寄っていただける一般内科外来』、『専門医による腎臓病外来・糖尿病外来』、『個々に最善の選択肢を提供する透析医療』を3本柱に掲げております。そのために、医師、看護師、臨床工学技士、管理栄養士、MSW、医療事務の各職種が、それぞれの専門性を発揮しながら共同でチーム医療を提供できるよう、日々まごころを込めて研鑽に努めております。また、一陽会グループ内のみならず、幅広い医療・介護ネットワークを駆使して患者の皆さまをきめ細かくサポートできるよう心がけております。



医療を取り巻く環境の変化や技術・知識の進歩に即応しながら、これからも地域の皆さまにますます愛されるクリニックを目指し、微力ではございますが職員一同精進してまいります。今後とも末永くご指導ご鞭撻くださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

イーストクリニック 院長 有田 美智子

認定看護師のご紹介

原田病院では新たに2分野2名の認定看護師が誕生しました。



摂食・嚥下障害看護認定看護師
原田病院 2病棟
百田 真志帆

食べ物や飲み物を、口に運び、食べて飲み込むまでを、摂食・嚥下(せっしょく・えんげ)と言います。加齢や、疾病・治療の副作用で、食べて飲み込むことが難しくなると、口から栄養がとれず、体力が落ち、免疫力が低下します。長く続けば、動くことが困難になります。いつまでも、おいしく食べて、元気に動きたいと、誰もが望むのではないのでしょうか。摂食・嚥下障害看護認定看護師は、患者さんの食べることに寄り添い、安全に食べ続ける支援をします。具体的には、口をきれいに保ち、食べる環境や姿勢、食事形態の変更などに関わります。治療に関わる医療スタッフと、チームで協力しながら、個々に応じた細やかなケアを行います。食べることで得られる、生きがいや楽しみ、コミュニケーションを大切にし、患者さんやその家族を支援していきたいと考えています。



透析看護認定看護師
原田病院 透析室
木村 奈穂子

現在、日本における慢性腎臓病の患者さんは約1330万人、成人の8人に1人の割合と多く新たな国民病とも言われています。そして、慢性腎臓病が進行すると生命保持の為に透析療法(血液透析・腹膜透析)や腎移植による治療が必要となります。透析看護認定看護師は、専門的な知識・技術をもって透析療法を受ける患者さんに対して、最適な看護を考えながら安全で安楽な治療環境の提供、透析療法を必要とする患者さんが治療の選択を自己決定できるような支援、長期療養生活に向けて患者さんや家族、患者さんを取り巻く方々への支援を行います。私は、患者さんに寄り添いながら体調や生活を把握し患者さんが大切にしている事を共有し、治療を継続できるよう多職種と連携をしながら活動をしていきたいと考えています。疑問や不安など思っていることがありましたらいつでもお気軽にご相談ください。

近隣医療機関のご紹介

みやた眼科 (西区井口)

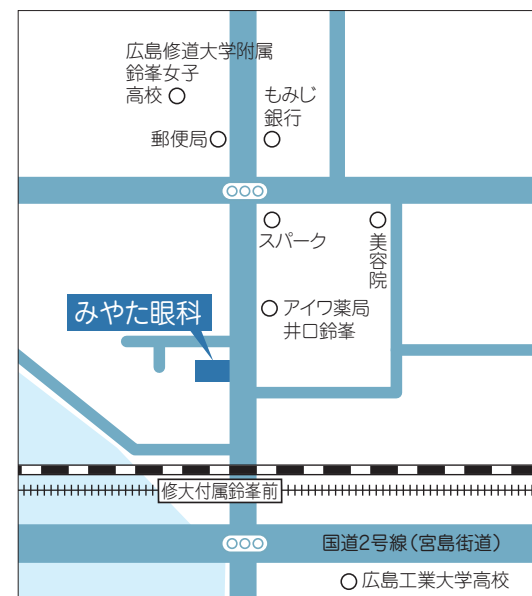
「子供からお年寄りまで幅広く診察しています」今回は西区井口にあります「みやた眼科」のご紹介です。

広電・宮島線「修大附属鈴峯前」電停の、“駅近くの白い建物”が「みやた眼科」です。所在地は西区ですが、佐伯区との境に在りますので、五日市や廿日市、八幡、湯来等からも多くの患者さまに来て頂いています。

子供の視力や、結膜炎・麦粒腫(メボ)・ドライアイといった外眼部疾患、白内障や緑内障等の加齢性疾患、糖尿病網膜症や黄斑変性症等の眼底疾患まで、幅広く診察をしています。また、非常勤医の山根貴司先生は、小児眼科(斜視・弱視等)に詳しいので、月～木曜日に診察をお願いしています。

平成9年の開業以来、白内障・緑内障・硝子体手術を日帰りで行っていますが、時々入院を希望される患者さまがおり、その時は原田病院に受け入れをお願いしています。また近年は糖尿病の患者さまが多くなり、眼合併症としての網膜症の検査や治療、また手術に際しての全身状態の把握などでは、原田病院との連携はとても重要と感じています。一開業医の力では地域医療への貢献は微々たるものですが、地域内の医療機関と連携を持つことで、患者さまが安心される医療を提供できればと考えています。

みやた眼科 院長 宮田 章



- 所在地 〒733-0842 広島市西区井口4-2-34
TEL:(082)276-1166 FAX:(082)276-1345
- 診療科目 眼科
- 診療時間 午前 9:00~12:30
午後14:30~18:00(火・木曜日は手術日)
- 休診日 土曜日午後、日曜日、祝日
- 駐車場 14台

X線CT認定技師のご紹介



X線CT認定技師
放射線科 三上 富生

原田病院では、新しく、X線CT認定技師が誕生しました

みなさんもCT検査という言葉を目にしたことがあると思います。CT検査は現在の医療現場で欠かせない重要な診断方法の一つとなっており、年々CTの装置や検査技術は飛躍的な進歩を遂げています。しかしCT検査と聞いて被曝を思い浮かぶ方も多いと思います。実際に医療被曝の多くを占めるCT検査は被曝低減が大きな課題となっています。認定技師の役割は、これらに対応した専門的な知識と技術を兼ね備えておく事です。今後も皆さまに根拠のある(疾患や治療方法などに合わせた)安心で安全な検査を提供できるよう精進していききたいと思います。

トピックスⅠ

糖尿病の治療をされている方へ ～糖尿病腎症～あなたは何期かご存知ですか？



糖尿病看護認定看護師
庄子千鶴満

1. 糖尿病腎症は3大合併症のひとつ

糖尿病という病気について、患者さんからよく耳にするのが、「合併症が怖い病気」という漠然とした言葉です。合併症は本当に怖いのですが、早期からうまく糖尿病と付き合っていくことで糖尿病がない人と同じ寿命や生命の質の確保が期待できます。

慢性合併症は糖尿病のコントロールがうまくいかないと、ゆっくり、でも確実に進んでいきます。個人差はありますが、5年くらいすると神経障害、7～8年くらいすると失明の原因となる網膜症が出てきます。そして10～15年くらいすると透析が必要となる腎症が起こってきます。患者さんにはこの糖尿病3大合併症を

- 【し】神経障害
- 【め】眼(網膜症)
- 【じ】腎症

と、きのこの「しめじ」の例えでお話をすることが多くあります。今回は【じ】の腎症についてお話をしたいと思います。

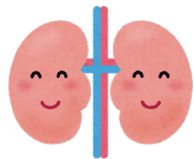


2. 腎臓の働きについて

腎臓の主な働きには以下のものが挙げられます。

- ① 老廃物や毒素の排泄
- ② 体内の水分やミネラルの調節
- ③ 血圧の調節
- ④ 造血を促すホルモンを作る
- ⑤ カルシウムの吸収のために必要なビタミンDの働きを高める

このように腎臓は一日中体内の環境を一定に保つために働いてくれています。



3. 腎症の経過について

高血糖にさらされると腎臓の働きは少しずつ低下していきます。最終的には老廃物や余分な水が体に溜まって呼吸が苦しくなるなどの命にかかわる状態となり、透析療法が必要になります。問題なのは、最終的な状態になるまでほとんどが自覚症状を感じないことです。これは糖尿病の慢性合併症の大きな特徴です。また、腎症の発症は、心臓の病気や脳の血管の病気に関係してくるということが知られています。

4. あなたの病期はどの駅ですか

患者さんにわかりやすいように図のように病期の1～5期を駅で示してみました。

ほとんどの糖尿病の患者さんはご自分の「病期駅」がどこかをご存じありません。病期にはそれぞれの特徴があって、食事療法や運動療法で気をつけることが変わってきます。そして病期が進むにつれて他の薬物療法などが加わり治療が複雑になってきます。「前と違うことを言われるようになった！話が違う！」と憤る患者さんに会うことがあります。このようなことにならないよう、早期からの指導が必要だと感じています。

腎症1期(腎症前期)：腎症が出現する前。尿中アルブミン(たんぱく質の一種)が少なく腎機能の著明な低下はありません。

腎症2期(早期腎症期)：尿中にたんぱく質の一種のアルブ

ミンが出現します。

腎症3期(顕性腎症期)：尿中のアルブミンがさらに増加し、たんぱく尿が持続的に陽性となります。このころから腎機能が徐々に低下することが多くなります。

腎症4期(腎不全期)：腎機能の低下が進み腎不全期と診断されます。

腎症5期(透析療法期)：腎不全がさらに進行し、透析療法が必要になります。



5. 腎症を悪くしないために

先ほども述べましたが、腎症はゆっくりとした経過で進んでいき、初期には自覚症状がありませんので、定期的な検査が必要になります。病期に応じた生活習慣の改善、運動療法、血糖・血圧のコントロールが腎症の病期の進行を遅らせることに繋がります。

腎症は早期発見、早期治療で改善するともいわれています。腎症2期である早期腎症の段階でしっかり治療を行うことが効果的であると言えます。しかし、自覚症状がない患者さんには、治療の動機づけが難しいことがあります。「症状がないから大丈夫、今はそんな話を聞く必要がない」これまで、この言葉を耳にしてきました。自覚症状がないと自分のこととして感じにくいのは人の心理として仕方のない面もあります。しかし、症状が出たときにはすでに腎症は最終段階に近づいており、さらに急速に進行が早まっています。定期的な受診をし、腎症の早期発見と早期治療に努めることが大切です。

3期の顕性腎症期以降では、改善するには難しいですが、進行する速度を遅くすることができます。いずれにせよ、定期的な受診の継続、自己管理は腎臓を守るために大切なことと言えます。

6. 腎臓を守るための取組み

当院では糖尿病患者さんの腎臓を守るために医師・看護師・管理栄養士のチームで透析予防指導を行っています。一人一人患者さんの生活を知り、患者さんに寄り添った指導内容を心がけています。患者さんのQOL(生活の質・生命の質)の維持、向上のためにチームで取り組むことが私たちの役割だと考えています。



トピックスⅡ

第63回 日本透析医学会学術集会

会期：平成30年6月29日(金)～7月1日(日)

場所：神戸国際会議場

6月29日(金)～7月1日(日)神戸国際会議場で開催された“第63回日本透析医学会学術集会”に一陽会から3名の座長と17演題の研究発表を行ってまいりました。今回の研究の成果を日常の診療に活かしていくよう努めてまいります。

管理栄養士クリニック常駐の必要性について

○菅由香里 福田剛三 山本美由紀 藤本智恵 本丸忠生 丹治知恵 碓井公治

【諸言】 現在管理栄養士(栄養士)による指導は患者1名に対し年1回程度、本院からの派遣である。指導不足を実感したため栄養士常駐の必要性について検討した。

【対象・方法】 患者10名に2017年3～8月上腕周囲長・皮下脂肪厚測定と栄養士の指導を実施し、血液データ等を収集した。取り組み後アンケートを患者に行い栄養士の必要性を総合評価した。

【結果】 GNRIは介入中の平均値が介入前半年間より高値であったが、全データにおいて有意差はなかった。アンケートでは食事内容が変化した実感がある、月1回の継続指導を希望すると70%の患者が答えた。以上より栄養士常駐は必要であるとスタッフの意見が一致した。

【考察】 栄養士が患者背景を深く知りコミュニケーションをとることで患者個々に合わせた指導ができ、食事摂取に関する患者の意識を高めたと考える。

【結語】 栄養状態改善には栄養士常駐による継続指導が必要である。

座長およびその他の研究発表一覧

◆座長

- ・水入苑生 セッション：CKD—MBD／骨
- ・西澤欣子 セッション：看護／看護体制2
- ・内藤隆之 セッション：血液浄化法／透析スケジュール・その他2

◆研究発表

若年血液透析患者におけるvitaminK依存性血管石灰化抑制因子mstrix Gla Protein

- 水入苑生 西澤欣子 山下和臣 丹治知恵 碓井公 治 土井盛博 正木崇生 重本憲一郎

維持血液透析患者におけるCAC density の意義

- 西澤欣子 水入苑生 内藤隆之 福田剛三 菅由香里 丹治知恵 碓井公治 土井盛博 正木崇生 重本憲一郎

超高齢血液透析患者の生命予後についての検討

- 西澤欣子 水入苑生 原田 知 正木崇生

当会における透析患者の終末期対応の現状

- 内藤隆之 加藤曜子 山下和臣 西澤欣子 水入苑生 重本憲一郎 原田 知 正木崇生

維持血液透析患者に発症した後天性血友病Aの一例

- 小野京香 西澤欣子 山下和臣 芦谷亜季 丹治知恵 碓井公治 土井盛博 正木崇生 重本憲一郎

TRACP 5bは維持透析患者の骨折を予測できるか

- 浅井真理子 内藤隆之 藤田 潔 水入苑生 重本憲一郎 碓井公治 有田美智子 正木崇生

オーバーナイト透析の有効性

- 藤野早知栄 小野京香 西澤欣子 水入苑生 重本憲一郎 正木崇生

下肢末梢動脈指導管理加算の算定に関する取り組み

- 藤中 雪 山根智子 金子真由美 上野真由美 渡辺和徳 水入苑生 重本憲一郎 原田 知

超高齢者3例の透析導入・非導入の経験

- 本多祥子 木村美智代 新田千恵美 小嶋加代子 水入苑生 重本憲一郎

PD導入期指導用のスケジュール表と手引書の評価

- 山口夏紀 磯田智美 井上哲也 木村美智代 新田千恵美 小嶋加代子 水入苑生 重本憲一郎

原田 知

透析中の運動療法により透析中の下肢痙攣が軽減した1症例

- 田淵嵩人 山崎希望 飯村哲也 珍部三恵子 森田直美 藤川 博 本丸忠生

透析液作製室の清浄化管理運用について

- 小野亮一 竹内佳奈 三原修司 龍野浩典 三原 彩 山本美由紀 山形智子 森田直美 手島和子 本丸忠生

丹治知恵 碓井公治

臨床工学技士の透析臨床業務教育 ～患者心理、コミュニケーション教育～

- 烏田一義 有田美智子 頼岡徳在

フットケアに対する患者の理解度とスタッフ指導の現状

- 藤川 智 福馬美保 昌木秀介 錦郡 司 新田千恵美 本丸忠生 小嶋加代子 加藤曜子 山下和臣

クリーンルームの湿度管理を目指して ～除湿器を使用した結果～

- 矢原 綾 龍野浩典 木村優之 木谷博之 昌木秀介 福馬美保 錦郡 司 新田千恵美 本丸忠生 加藤曜子 山下和臣

FIX-210Eecoを用いた後希釈オンラインHDFの臨床評価

- 石田真美 木村優之 木谷博之 昌木秀介 福馬美保 錦郡 司 新田千恵美 本丸忠生 加藤曜子 山下和臣

連携病院のご紹介 Vol.5 ～地域連携室より～

地域連携室 課長 佐々木 章

このコーナーは、当院が医療連携を結んでいる病院の、主に連携担当者としてご活躍されている職員の方にスポットを当ててご紹介させて頂くコーナーです。

第5回は、医療法人ピーアイエー ナカムラ病院の地域連携センターをご紹介します。小田副センター長、石田相談員さん、中森相談員さんの御三方にお話を伺いました。

○いつも大変お世話になっております。本日はよろしくお願いします！

こちらこそいつもお世話になっています。(笑)

○地域連携センターの職員について教えていただけますでしょうか？

(小田副センター長)「塚野センター長(病院長)はじめ、相談員10名、看護師1名、心理士1名、事務員1名の計14名で構成されています。」

(中森相談員)「病院の相談員以外にも併設の介護老人保健施設「まいえ」や認知症デイケア「にぎや家」の相談員も所属しています。私は認知症デイケアを担当していますが、同じフロアにいますので連携がとりやすくメリットも大きいです。」

○ナカムラ病院さんは、高齢者、特に認知症専門というイメージがあります。

(小田副センター長)「そうですね。地域の高齢者、特に認知症の方の治療、支援に力を入れています。病床は410床(認知症病棟210床、医療療養病棟50床、介護医療院150床)あり、関連施設として介護老人保健施設「まいえ」、認知症グループホーム「つぼい」、特別養護老人ホーム「陽光の家」などがあります。外来では「もの忘れ外来」を予約制で実施しています。また認知症の方やその家族、地域住民を対象とした「認知症カフェ」も定期的の実施しております。」

○病棟の一部を介護医療院へ移行されたとお聞きしましたが、

(小田副センター長)「介護療養病棟(150床)が9/1から介護医療院へ移行しました。生活の場により近い環境で療養頂けるよう取り組んで参りますので、対象の方がいらっしゃればお気軽にご相談ください。問い合わせもお待ちしております。」

○最近話題になっている「認知症カフェ」について教えてくださいか？

(石田相談員)「認知症カフェは、認知症の方やそのご家族、地域住民の方、介護や福祉などの専門家が気軽に集い、情報交換や相談をしたり、認知症の予防や症状の改善を目指した活動をしたりする場所です。当法人では平成28年の10月から、毎月第3金曜日にナカムラ病院で開催しています。次回は11/16(金)14時開催予定です。薬剤師より「お薬との付き合い方」というテーマでミニ講話も予定しています。申し込みは不要でどなたでも無料で参加出来ますのでぜひお越しください。美味しいお菓子とお飲物を用意してお待ちしています。」

○ぜひ行きたいと思います！本日はお忙しい中ありがとうございました！今後ともよろしくお願い致します！



医療法人社団ピーアイエー
ナカムラ病院



地域連携センターの皆さま

在宅事業部トピックス Vol.2 クローバー居宅介護支援事業所



平成11年の開設以来、介護保険サービスを通じて地域の皆さまとつながる役割を担ってまいりました。制度開始以降、高齢化に対応すべく「住み慣れた地域で自分らしく暮らす」ことをマネジメントするケアマネージャの役割がより重要視されています。個々の生活スタイルや家族構成が多様化し、生活背景も複雑になり、私達支援者側のスキルをもってしても対応に行き詰まるが増えて来ました。そのような時こそ、地域へ目を向けて住民の皆さまにご協力いただいたり、専門機関へ出向いたり、個別対応するためチームで関わったりと地域にある資源を活用・駆使して問題解決していくよう日々取り組んでいます。基本的に公的サービスを計画することが主体ですが、書類作成業務だけではなく、生活を支えるイコール利用者さまのプライバシーへふみこんで行く業務でもあるため、慎重を期すことを心掛けながらも、家族のような親近感も芽生え、何でも話し合える信頼関係が生まれた時には、困難な中にもやりがいや達成感が感じられスタッフ各々、それをエネルギーにして日々奮闘しています。

現在職員8名で基礎資格が介護・医療出身の多職種で活動しております。医療法人一陽会母体の事業所で、訪問看護ステーションが併設されており、病院との連携がしやすく医療系サービスが手厚く提供できることが強みです。

今後も皆さまと地域での暮らしに必要な資源をつなぐお手伝いを続けてまいります。よろしくお願い致します。

クローバー居宅介護支援事業所 所長 平田 恵美

コラム

いきいきさん

第43回 横川クリニック 血液浄化部
技術主任 木谷 博之



最新の治療を提供できるよう努めています。

H20年に入職し、一陽会クリニック透析室で7年間勤務し、現在は横川クリニック透析室に勤務しております。特に透析患者さんの命綱であるシャント血管に対してエコーを中心としたシャント管理に従事しております。横川クリニックではH30年7月より、エコーガイド下PTAが始まり、治療に携わって



おります。PTAと

は経皮的血管拡張術のことで、造影剤を使用した治療が主ですが、エコーガイド下PTAとは、造影剤を使用しないため患者さんの身体的負担が少ない治療です。新たな治療に携わることができ、刺激を受け楽しく仕事をしております。医療の進歩は目覚ましく、日進月歩で新たな治療方法や機器が出てくる中、患者さんのために最新の治療を提供できるよう日々努力してまいります。今後とも宜しくお願い致します。

健康レシピ 酢豚



エネルギー:332Kcal／たんぱく質:16.4g／塩分:0.9g

《材料(4人分)》

豚肉角切…………… 320g	缶入りパイナップル…………… 40g
醤油……………4g(小さじ2/3)	酢……………20g(大さじ1・1/3)
酒……………4g(小さじ4/5)	砂糖…………… 20g(大さじ2強)
片栗粉…………… 適量	醤油…………… 16g(大さじ1弱)
玉ねぎ…………… 160g(小1個)	ケチャップ32g(大さじ2弱)
人参…………… 80g(中1/2本)	油…………… 8g(小さじ2)
生しいたけ…………… 80g(中4枚)	揚げ油…………… 適量
ピーマン…………… 40g(1個)	水溶き片栗粉…………… 適量
水煮竹の子…………… 80g(中1/2個)	

《作り方》

- ①豚肉に醤油・酒で下味をつける。野菜は、それぞれ食べやすい大きさの乱切りにし、人参・水煮竹の子は下茹でをする。パイナップルは、一口大に切っておく。
- ②Aを混ぜる。
- ③①で漬込んだ肉に片栗粉をまぶし170℃の油できつね色になるまで揚げ、よく油を切っておく。
- ④フライパンにサラダ油を熱し、野菜を炒め、②・③を加え、水溶き片栗粉でとろみをつける。

管理栄養士 行森 貴子